

STS Network Japan 夏の学校 2014 のお知らせ  
代表就任のご挨拶

p.2

p.4

【報告】

STS Network Japan ワーキンググループ決定事項報告

p.5

STS Network Japan 2013 年度総会および会計報告

p.6

# NEWS LETTER

2014 vol.25 (1)

**STS NETWORK JAPAN**

STS は Science, Technology, and Society の略称です

## STS Network Japan 夏の学校 2014

### 日本のメタ科学の再構築を目指して

科学を分析する営み（メタ科学）は、研究対象別（ex. 物理学、生物学、心理学、神経科学など）／研究方法別（ex. STS、科学史、科学哲学、科学人類学など）になされており、じつに多様です。

ある科学の成り立ちを理解するためには、①それぞれの科学に対して定性的かつ定量的に知ることはもちろん、②俯瞰的な視点からそれぞれの研究対象・研究方法を有機的に結びつけ、自身の認識を他の対象・方法と相対化しながら、総合的に把握することが必要になります。

しかしながら、研究対象／研究方法の多様性によって生み出された学問分野間の隔たりは、俯瞰的な視点に立つことを難しいものになっています。それぞれのメタ科学の営みは自律的なもの（その分野に閉じたもの）へと移行しつつあり、なかには「自分の専門分野に貢献すればそれで十分であり、他の分野に貢献することは必ずしも目指さなくてよい、科学に貢献するなんて考える必要もない」といったような考えを持つ方も少なからずいらっしゃいます。自分たちの分野に閉じこもることは、他分野にいる人たちにとっても不幸なことであるのにもかかわらずです。

メタ科学のあいだにある隔たりを取り除くことは、現状の教育制度の前では難しい状況にあります。それぞれの分野の関心や盛り上がっているトピック、研究スタイルにそって研究・教育が行われることがその理由です。では、どうするべきでしょうか。共通の目的を設定する必要があるのでしょうか。研究の方法を統合する必要があるのでしょうか。

そのような問題意識から、今年のSTS Network Japan 夏の学校は、科学を分析するあらゆる方が今後の展望を持てるような機会としたいと考えています。STSを専門とする方だけでなく、科学史、科学哲学、科学人類学など、科学を分析するすべての人に開かれています。科学者の方にとっても、メタ科学を知ってもらえるよい機会になると考えております。研究発表者には、分野を超えた含意を持つような刺激的な議論を期待しています。

また、今年の夏の学校では、9月4日の午後に、研究対象や研究方法が異なる諸分野（STS、科学哲学）の第一線で活躍されている研究者をお招きし、「科学を分析する者にはどのような能力が必要か」、「科学を分析する者を育てるために求められる教育制度はどのようなものか」といった問いを基軸として、日本のメタ科学の今後を展望することを目的としたシンポジウムを開催します。メタ科学に対して関心を寄せ、批判的・建設的な意見を出してくださる科学者もお招きし、ともに議論を深めて行きたいと思っております。

たくさんの方のご参加を、心よりお待ちしております。

開催日：2014年9月3日（水）～9月5日（金）

（途中参加、退出可能。詳しいスケジュールはプログラム作成後にお知らせします）

開催地：名古屋大学 情報科学研究科第1講義室

URL: <http://www.nagoya-u.ac.jp>

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

参加費：無料（朝食や昼食は大学構内にある食堂・コンビニエンスストアなどをご利用ください）

宿泊費：一泊3000円程度（予定）

懇親会費：9月3日か4日のみ：学生2500円程度、一般4500円程度

9月3日と4日両方：学生4000円程度、一般8000円程度

○シンポジウム日時：9月4日（木）13時から17時まで

○シンポジウム登壇者（追加予定あり：五十音順、敬称略）：

熊澤峰夫（名古屋大学）、佐倉統（東京大学）戸田山和久（名古屋大学）、平理一郎（基礎生物学研究所）

#### ◆スケジュール

- 1) 発表申込受付締め切り 7月25日（金）：とりあえず資料だけほしいという方は、この日までに申込書の「プログラムを送ってください」に丸を付けて送付してください。プログラムが完成次第、ご連絡します。
- 2) 発表要旨締切 8月8日（金）：発表テーマのタイトル、400字程度の要旨と簡単な自己紹介文をご連絡ください。夏の学校のしおりに掲載させていただきます。
- 3) 参加申込受付締め切り 8月15日（金）：発表のない方は、この日までにお申し込みください。また、夏の学校のしおりに掲載する簡単な自己紹介文をお送りください。

#### ◆申込先

原則として以下の書式をご利用の上、Eメールでお願いします

STS NETWORK JAPAN 事務局 夏の学校実行委員 メールアドレス：[stsnj.summer@gmail.com](mailto:stsnj.summer@gmail.com)

事務局の連絡先とは異なりますので、ご注意ください

----- STS NETWORK JAPAN 夏の学校参加申し込み -----

STS NETWORK JAPAN 夏の学校 2014 に（参加します / プログラムを送ってください）\*

宿泊日（9月3日 4日） ※宿泊を希望する日を選択してください

氏名（フリガナ）

性別（男・女）\*

連絡先（自宅または所属先・E-mail）\*

E-mail アドレス（ ）

連絡先：〒

Tel:

Fax:

発表（する・しない）\*

発表される方のみ講演題目（ ）

自己紹介文：

\*いずれかに○印をしてください。

複数必要な方はコピーしてお使いください。E-mail での申込も同様の書式でお願いします。

# 代表就任のご挨拶

福本 江利子

東京大学大学院 総合文化研究科  
博士課程1年

こんにちは。2014年度のSTSNJの代表をつとめさせていただき、福本江利子と申します。2013年の夏の学校の開催を担当し、続いて今年度の代表をさせていただくことになりました。私は、東京大学大学院総合文化研究科にて科学技術社会論を専攻しており、トピックとしてはバイオテクノロジーの集中的振興と集積地形成政策における国民や地域住民との関係性等について研究をすすめている博士課程の学生です。先日2014年3月に開催されたSTSNJの春のシンポジウムではSTSNJの設立時期のお話を興味深くうかがうなど、まだSTSNJについて知らない点多々あり日々学ばせていただいておりますが、諸々努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

STSNJは2015年3月に設立から25年を迎えるということで、これまでも既にワーキンググループなどをつくって話し合いが少しずつされてきましたが、STSNJ自体が今後の方向性や活動の在り方について改めて考え直す、或いは立て直していく時期にあるかと認識しています。STSNJの事務局の運営や近年の活動には、ある程度決まった会員の皆様を中心になっていることも多いと話にうかがっています。現在シンポジウムや研究会、事務局運営等々を通じて活動に関与されている方だけでなく、初期の立ち上げ期に深くコミットされ現在は少々遠ざかっていらっしゃる方々、多忙でなかなか関与の機会がなかった方々、最近入会された方々など皆様の現在のSTSNJとの関わり方は様々かと思いますが、夏の学校や研究会諸々、お気軽に足を運んでいただくと共に、メーリング・リストやニュース・レターも活用いただけたらと思います。

また、私事ではありますが、夏よりアリゾナ州立大学に留学するため日本に身体ごと滞在して活動できる時間は限られてくるのですが、様々な議論や活動の場を提供していくことができたらと考えています。STSNJの在り方、また具体的なシンポジウムや勉強会などの開催案等々、皆様からのご提案をお待ちしていますので、ぜひお気軽にメールもしくはメーリング・リストでご連絡ください。設立から25年を控え、STSNJそのもの、そして会員の皆様やSTSなるものとの関係性は変化を経ているものと思いますが、共に今後のSTSNJまたSTSについて考え、活動、運営をしていけたらと考えています。至らない点多々あると存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

# STSNJ ワーキンググループ 決定事項報告

2014年3月29日(土)のSTSNJワーキンググループ  
での決定事項を以下に示します。

メーリングリストに加入されている方  
で、会員でない方は、会費を納入してい  
ただくよう、よろしく願いいたします。

## ○事務局の扱い

- 事務局に入ったら、自動的に会員になることとする  
←事務局に入ったときに、入会手続きをしてもらう  
(個人情報と併せて送る)
- ←事務局に入っている人は無料とする(払ってもいい)

## ○今後の方針

- 一年間、積極的に活動し、若手を勧誘する
- お金を取る方向での勧誘ではなく、企画委員として  
事務局に入ってもらおう方向で勧誘する
- 小規模なイベント、読書会を開催する

## ○会員の条件

- 最終的には、会員であることとMLに入っているこ  
とは一致させる
- 総会の時に、その時点で払っていない人を削除する
- 事務局には、随時募集の企画委員も含む

## ○新メーリングリスト加入者数:55名(2014/7/11現在)

- 新ML移行方法のお問い合わせは事務局 <office@stsnj.  
org> までお願いいたします

## ○ニュースレター発送法変更

- メーリングリストに加入していない方には、今後も  
郵送を続けるが、メーリングリスト加入会員には、来  
年度からPDF配信へと移行したい。この変更について、  
ご意見のある方は、今年度中に事務局までご連絡くだ  
さい。特に何も無い場合、2015年3月総会での議論を  
経て、来年度26号1(1)からの変更を検討する

## 会費納入について

このニュースレターが入っていた封  
筒のラベルに関する説明

お名前の右下に、会費の支払い状況などを示して  
おります。

「13,14未」と「14未」は、それぞれ該当年の  
会費(2000円)が支払われていないことを表しま  
す。2年分未払いの方は、今年度中に会費のお支  
払いがなければ、それをもって脱会の意志表明と  
受け取らせていただき、以後ニュースレターの発  
送を中止します。

「13不足」は、お支払いいただいている会費が  
2000円には不足している場合で、「不足」の後の  
数字が不足金額を表します。お手数ですが差額分  
をお支払いください。

「臨時」は、「夏の学校」への参加者など、何ら  
かの理由でSTS Network Japanに関係がある方  
に、臨時にお送りするものです。この期間は通常  
1年間ですので、送付が始まって1年以内に入会  
の手続きをとられなければ、以後ニュースレター  
の送付を停止させていただきます。

会費は、以下の口座にお振込みくださ  
い。

郵便振替口座 00170-1-63708  
加入者名 STS NETWORK JAPAN  
(年会費 2,000円)

振込用紙の通信欄には、(1)何年度会費(新規入  
会の場合は、そのように明記してください)、(2)  
お名前、(3)ご所属、(4)ご連絡先(住所・電話番号・  
E-mail)を明記してください。

※新規入会の方の会費は当該年度のものとして  
扱わせていただき、何月の入会であれ、その年の  
ニュースレターが送付されます。

## 庶務(名簿担当)からのお願い

ニュースレターの郵送先に関わる情報、すなわちご住所  
の変更、ご所属の変更、お名前の変更などがあつた方は、  
変更前と後の郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話  
番号、E-mailアドレスを事務局あてに、郵送、E-mail  
<office@stsnj.org>のいずれかにてお知らせくださ  
い。また、STSNJのWebSite<[http://stsnj.org/cgi-bin/  
application/](http://stsnj.org/cgi-bin/application/)>において、会員情報の変更を行うことも  
できます。どうぞよろしくお願いいたします。

# 2013年度 STS Network Japan 総会報告

STS Network Japan 事務局

2014年3月29日(土) 11:30 - 12:30 於 早稲田大学西早稲田キャンパス

## 1. 2013年度事業

### (1) 総会・研究発表会

日時：2013年6月29日(土) 13:30-16:30

会場：大阪大学中之島センター 608号室

### (2) 日本科学史学会生物学史分科会との合同シンポジウム

日時：2013年6月30日(日) 13:30-17:00

### (3) 夏の学校2013

日時：2013年8月30日(金) - 9月1日(日)

会場：旅館「伯梁」 静岡県静岡市清水区三保 2993-5

テーマ：「STSにおいて「実践」とは何か？」

### (4) 春のシンポジウム・総会

日時：2014年3月29日(土) 11:30-17:30

会場：早稲田大学理工(西早稲田)キャンパス 52号館 101教室

テーマ：日本におけるSTS・科学技術社会論の25年

- その実際問題を、各世代の「若手」からのキャリアを通して考える -

### (5) STSNJワーキンググループの発足(2014年2月)

目的：STSNJの現状把握と問題の整理、今後の指針の提案、メーリングリストの再検討

## 2. 2013年度会計報告(会計：中村征樹, 会計監査：東島仁)：次ページ参照

## 3. 2014年度事務局人事

代表：福本江利子

事務局長：森下翔

会計：中村征樹

会計監査：東島仁

名簿管理：標葉隆馬

庶務(郵便物管理)：中村征樹

Web管理：夏目賢一

企画委員：随時募集

ML管理：加藤源太郎/標葉隆馬

夏の学校実行委員長：菅原裕輝

ドメイン管理：中村征樹

編集：東島仁/中川智絵/関谷翔/江間有沙

## 4. 2014年度事業計画

### ・夏の学校

日時：9月3日(水) - 9月5日(金) 場所：愛知県名古屋大学

テーマ：日本のメタ科学の再構築を目指して

### ・STS Network Japan 25周年記念企画

### ・News Letterの発行(年2回)

### ・事務局会議、その他作業など(MLやSkype)

## 5. 2014年度予算計画：次ページ参照



## 会計報告 (会計：中村征樹、会計監査：東島仁)

### 2013 年度決算報告

2013 年度会計 中村征樹

※ ( ) 内の金額は、昨年度総会で提案された予算案の金額

#### <<収入>> (2013.06.27 ~ 2014.03.27)

※ 6月27日入金分の通知が6月28日時点で届いていなかったため、収入についてのみ2013年度決算に参入

前年度繰越金	960,908 円
会費	78,500 円 (200,000 円)
Yearbook 売上	0 円 (0 円)
年度小計	75,000 円 (200,000 円)

合計 1,039,408 円 (1,160,908 円)

#### <<支出>> (2013.06.27 ~ 2014.03.27)

News Letter 発送費	81,760 円 (100,000 円)
no.1 印刷 20,150 円 郵送 13,370 円 作業謝金 4000 円	
no.2 印刷 15,900 円 郵送 23,340 円 作業謝金 5000 円	
※郵送費が no.2 であがったのはメール便ではなく郵便のため	
研究会経費	0 円 (0 円)
事務局会議経費	0 円 (20,000 円)
シンポジウム・総会経費	15,560 円 (200,000 円)
シンポジウム (2013/7) 講師旅費を支出 (一人分)	
※ 2012 年総会経費については、会場費を事前振込みしたため、2012 年度会計で支出。2013 年度総会経費については 2014 年度会計に	
通信費	1,790 円 (10,000 円)
※振り込み手数料・送料	
雑費	4,435 円 (10,000 円)
※封筒印刷代	
Web 関連経費	0 円 (12,000 円)
※レンタルサーバー代 (切り替え時期の関係で支出なし)	
夏の学校補助	77,654 円 (100,000 円)
年度小計	181,199 円 (431,000 円)
次年度繰越金	858,209 円

合計 1,039,408 円

### 夏の学校 2013 会計決算報告

収入	項目	金額	支出	項目	金額
	参加費	260,500 円		宿泊・食事・会場費	245,700 円
	( 宿泊・昼夕食・懇親会費含む)			懇親会費	32,454 円
	NJ 補助費	77,654 円		謝金・交通費	60,000 円
合計		338,154 円	合計		338,154 円

### 2014 年度予算

2014 年度会計 中村征樹

#### <<収入>> (2014.03.28 ~ 2015.03)

前年度繰越金	858,209 円
会費	100,000 円
Yearbook 売上	0 円
年度小計	100,000 円

合計 958,209 円

#### <<支出>> (2014.03.28 ~ 2015.03)

Newsletter 発送費	100,000 円
(2号発行)	
※ NL 印刷・郵送・作業謝金等	
事務局会議開催費	0 円
シンポジウム・総会・研究会経費	200,000 円
通信費	10,000 円
※ NL 以外の郵送費、振り込み手数料	
雑費 (封筒・文具等)	10,000 円
Web 関連費	11,000 円
夏の学校開催補助	100,000 円
年度小計	431,000 円
次年度繰越金	527,209 円

合計 958,209 円



## 編集後記

今年の夏の学校は、シンポジウムも開催されます。皆様のご参加をお待ちしております！

4月にメーリングリストは新しいものへ移行しました。ニュースレターのありかたについても、今後ワーキンググループで議論をしていく予定です。皆様のご意見をお待ちしております。

Newsletter Vol.25 (1) (通巻 No.75)

2014年7月12日発行

編集

STS NETWORK JAPAN 事務局

Newsletter 編集委員会

代表 福本江利子

委員 中川智絵 / 東島仁 / 関谷翔 / 江間有沙

発行

STS NETWORK JAPAN

代表 福本江利子

STS NETWORK JAPAN 事務局

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-16

大阪大学 全学教育推進機構

中村征樹研究室気付

E-mail: [office@stsnj.org](mailto:office@stsnj.org)

URL: <http://stsnj.org/>

郵便振替口座 00170-1-63708

加入者名 STS NETWORK JAPAN

(年会費 2,000円)